



優秀賞 (居室部門)

タイトル

しつらいを楽しむ変幻自在の収納建具

タイプ

持家共同建

講評

和室をリフォームし、和洋折衷の「畳ルーム」とした作品。ロールスクリーンを利用して、収納量を減らすずに、床の間風に演出できる壁面収納のデザインが魅力的でうまい。汎用性が高そう。

リフォーム前後の写真



①南面いっぱいに広がった開放的なLDK。ご主人念願の畳スペースも実現した。



②琉球風畳を敷き込んだ畳ルーム。正面中央のスクリーンを下ろすと、床の間風の室礼となり、落ち着いた空間となる。



③スクリーンの裏側と両サイドは収納棚に。天井までの建具で壁のように見せた。



④左手に、奥の洋室に光を届けるガラスブロック窓が見える。

引き戸でシーンを変えられる壁面収納をデザイン。くつろぎの畳ルームのあるリビング。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機・要望》

1. 母親の使っていたマンションを娘夫婦が使うにあたり、内装イメージを一新したい。
2. 今は夫婦2人なのでできるだけ家全体を広く使いたいが、将来子どもができたときには部屋を仕切れるようにしたい。また、部屋に合せた収納スペースを工夫したい。
3. 畳を取り入れて寝転がれるスペースが欲しい。

《リフォームのポイント》

1. ダイニングと和室2室をひとまとめにしてワンルームLDKとし、

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	神奈川県川崎市	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造 / 31年
該当工事面積	11.7 m ²	該当部分工事費	120 万円
居住者構成	2人 (大人<15歳以上)	2人 子供	人 ペット
設計者	(株) 東急アメニックス	担当者	菊地 和多利・三戸 結子
施工者	同上	担当者	

リビングの片側を一部畳敷きにして寝転がれるスペースを

設けた。畳ルーム側は、天井までの引き戸で仕切って開閉できるようにしてある。将来は子どもスペースとして利用できる。

2. 畳ルームには壁面収納を造作。いかにも収納とならないよう、見せる空間も組み込みつつ収納量を確保した。

3. 寝室となる中央の洋室が暗くならないよう、畳ルームとの間の壁にガラスブロックをはめ込んで意匠と採光の効果を狙った。

リフォーム前



リフォーム後

